

音楽科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア	イ
多様な音楽に関心を持ち、音楽のよさや美しさを味わって音や音楽を聴く。	曲に込められた思いや意図を感じ取り、自分の考えをもつこと。

	児童・生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な音楽に触れる機会が少ないため、聴いたことのない曲に対する抵抗感が強い。ア</li> <li>曲に込められた思いや意図に注目できていない。イ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞では、簡単に取り組める導入課題を出し、音楽に関心をもたせる。ア</li> <li>歌詞や音楽記号を手掛かりにして、表現の工夫を考える時間をつくる。イ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月、9月、10月、12月、1月</li> <li>通年</li> </ul>	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な音楽に触れる機会が少ないため、聴いたことのない曲に対する抵抗感が強い。ア</li> <li>曲に込められた思いや意図を生かした表現の工夫の幅が狭い。イ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>聴くポイントを明確にしたワークシートを作成する。ア</li> <li>多様な表現の仕方があることに気付かせ、表現の工夫について考える時間をつくる。イ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月、9月、12月、1月</li> <li>通年</li> </ul>	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>聴いたことのない曲に対する抵抗感が強い。ア</li> <li>曲に込められた思いや意図を生かした表現の工夫の幅が狭い。イ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>その曲の魅力に気付かせ、根拠をもって自分の言葉で批評させる。ア</li> <li>多様な表現の仕方があることに気付かせ、表現の工夫について考える時間をつくる。イ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月、8月、10月、1月</li> <li>通年</li> </ul>	

<p>■主体的・対話的な学習活動について</p> <p>1年 他者の演奏や意見を聞き、見方や考え方を広げる。</p> <p>2年 他者と意見交換をしながら、協働的に音楽活動に取り組む。</p> <p>3年 他者と意見交換をしながら、協働的に音楽活動に取り組む。</p>	<p>■授業の終末の工夫</p> <p>1年 授業の振り返りを行い、次時への目標をもたせる。</p> <p>2年 授業の振り返りを行い、次時への目標をもたせる。</p> <p>3年 授業の振り返りを行い、次時への目標をもたせる。</p>
--	--